

文部科学省委託事業：令和2年度「次世代のライフプランニング教育推進事業」
(男女共同参画の推進に向けた教員研修モデルプログラムの開発)

学校における 男女共同参画の推進のための 教員研修プログラム

実施の手引き



はじめに

本書は、文部科学省委託事業 令和2年度「次世代のライフプランニング教育推進事業」(男女共同参画の推進に向けた教員研修モデルプログラムの開発)の一環として、受託先の独立行政法人国立女性教育会館が開発した教員研修プログラムを実施するための手引きです。

男女共同参画の推進は、持続可能な社会を築いていくための地球規模の重要課題です。日本社会においても、ジェンダー平等は、2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げるSDGsのすべてのゴールの達成のために不可欠な優先課題として位置づけられています(「SDGs実施指針改定版」2016年12月SDGs推進本部決定)。しかしながら、世界経済フォーラムが公表する「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」が、2019年には153か国中121位であったように、日本の男女共同参画の推進は、他国と比して低水準に留まっています。その背景の1つとして、社会全体において固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)があり、これらが男女共同参画社会の実現に向けた大きな障壁となっています。

固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)は、子供の頃からの経験や周囲の期待等の影響によって積み重ねられていくと考えられています。無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)は、誰にでもあるものです。一般に、学校は、男女の平等が実現された場と考えられがちですが、実際には、様々な場面において、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が存在している可能性があります。本事業では、学校教育に携わる教職員の方々が、これらの意識や思い込みに気づき、話し合いを通して男女共同参画の視点について学び、学級運営や学校運営に活かすことを目指し、「学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム」を開発しました。本書は、この教員研修プログラムを実施するにあたって、重要な役割を果たす研修の企画・実施者やファシリテーターのための手引きとして作成しました。

学校や教育委員会等、それぞれの教育現場において、男女共同参画の推進にかかわる議論を活性化し、教育現場が変わっていくきっかけとして、本事業で開発した教員研修プログラムをお役立ていただければ幸いです。

目次

はじめに	ii
------------	----

I 教員研修プログラムの目的および手引きの使い方..... 1

1. 「学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム」 の目的	2
2. アンコンシャス・バイアスとは?	4
3. 本書の構成と使い方	6

II 男女共同参画の現状・課題

1. 男女共同参画の現状と課題	8
1 男女共同参画社会とは?	8
2 ジェンダー・ギャップ指数 (GGI)	9
3 経済・政治分野における取組	12
4 持続可能な開発目標 (SDGs) とジェンダー平等	13
5 第5次男女共同参画基本計画	15
6 コロナ禍における男女共同参画の課題	17
2. 学校における男女共同参画の現状と課題	19
1 学校において男女共同参画に取り組む意義・必要性	19
2 取り組む課題の例	20
3 教育分野における男女共同参画に向けた取組の推進に向けて	29

Ⅲ 動画教材を活用した教員研修の企画・実施…………… 31

1. 教員研修のデザイン……………	32
2. ケース動画を活用した教員研修の実施……………	34
1 ケース動画の対象およびテーマ・内容……………	34
2 教員研修の展開例……………	36
3 ディスカッションを前提としたワークの進め方……………	43
4 継続的な学び合いによる行動変容の促進に向けて……………	50

参考資料…………… 53

1. 動画教材①：ケース動画……………	54
2. 動画教材②：解説動画……………	79
3. 動画教材③：まとめ動画……………	90
4. 動画教材④：参考動画……………	93
5. ワークシート……………	94

I

教員研修プログラムの目的 および手引きの使い方

1

「学校における男女共同参画の推進のための 教員研修プログラム」の目的

「学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム」（以下、教員研修プログラム）は、初等中等教育に携わる教職員を対象とする動画教材を活用した研修プログラムです。

初等中等教育の現場において、教職員が、固定的な性別役割分担意識にとらわれずに児童生徒のキャリア形成を支援できるよう、また、自らの働き方や家庭生活について、男女共同参画の視点から再考することができるよう、教職員自身の固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）等についての気づきを促し、男女共同参画を推進する意識を醸成することを目的としています。さらに、教員研修プログラムを通じた教職員同士の継続的な学び合いを通して、教育現場の慣習やしくみを見直し、日常の教育実践や学校運営を変えていくことを目指しています。教員研修プログラムとは、単発の研修だけでなく、このような継続した学び合いや行動変容といった一連のプロセスを意味しています。

表 I-1は、教員研修プログラムで提供する教材について整理したものです。動画教材には、本書で「ケース動画」「解説動画」「まとめ動画」「参考動画」としている次のような4つの動画があります（巻末参考資料1～4参照）。

ケース動画	固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）にかかわる11の教育現場の身近な場面を示したイラスト動画
解説動画	ケース動画の各場面について、気づきのポイントを解説した動画
まとめ動画	無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が問題とされる社会的背景についての講義動画
参考動画	持続可能な開発目標（SDGs）の視点を踏まえた男女共同参画（ジェンダー平等と女性・ガールズのエンパワーメント）についての講義動画

研修を企画・実施する際は、研修の対象や時間、目的、課題等に沿って、これらの動画を組み合わせ、受講者同士のディスカッションを含めて研修を企画します。この他に、ケース動画の視聴や視聴後のディスカッションでは、「ワークシート」を使用します。先述したように、教員研修プログラムは、継続した学び合いによる行動変容を目指すプロセスを意味していることから、本事業で提供する教材は、そのきっかけとなる初期の場で活用するものと捉えられます。

表I-1 教員研修プログラムの教材

教材	動画教材	ケース動画
		解説動画
		まとめ動画
		参考動画
	ワークシート	
	手引き	

* 「教員研修プログラム」は、研修や継続した学び合い、行動変容等のプロセスを示す。

2

アンコンシャス・バイアスとは？

アンコンシャス・バイアス
(無意識の思い込み、偏見) とは？

誰もが潜在的に持っているバイアス

育つ環境や所属する集団のなかで知らず知らずのうちに脳にきざみこまれ、既成概念、固定観念となる

男女共同参画学協会連絡会 2019「無意識のバイアス-Unconscious Bias-を知っていますか?」より引用

2

まとめ動画資料 p.2

教員研修プログラムにおいて焦点をあてているアンコンシャス・バイアスとは、無意識のうちにとらわれている思い込みや偏ったものの見方のことです。このような思い込みやものの見方は、知らないうちに言動に表れて、人を傷つけたり、組織のあり方に影響を及ぼしたりすることがあります。アンコンシャス・バイアスは、環境や経験を通してつくられるもので、だれにでもあるものです。まずはこれらに気づくことが大切です。

性別に基づくアンコンシャス・バイアスや固定的な性別役割分担意識には、どのようなものがあるでしょう

例)

「家事・育児・介護は女性のほうが向いている」
 「管理職は男性のほうが向いている」
 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」
 「男性が一家の主な稼ぎ手であるべき」
 「理数系の教科は、男子児童生徒のほうが能力が高い」
 「女の子はやさしく、男の子は強くあるべき」

このような意識や思い込みが、男女共同参画社会の実現の大きな障壁となっていると言われている

3

まとめ動画資料 p.3

性別に基づくアンコンシャス・バイアスや、固定的な性別役割分担意識には、どのようなものがあるのでしょうか。ここでは、「家事・育児・介護は女性のほうが向いている」や「管理職は男性のほうが向いている」「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」等の例をあげています。このような「女性はこうあるべき」「男性はこうあるべき」あるいは「女性とはこういうものだ」「男性とはこういうものだ」といった性別による固定的な思い込みや価値観は、例えば社会では、採用や昇進にかかわる判断や評価等に、学校では児童生徒の進路選択等に、マイナスの影響を及ぼしてしまう問題が指摘されています。これらの思い込みが、社会の様々な慣習や制度と相互に関連して、一人ひとりが個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現の大きな障壁になると考えられています。

3

本書の構成と使い方

本書は、動画教材を対象や時間、目的等にに合わせて組み合わせて活用し、教員研修プログラムを企画・実施するための手引きです。また研修は、動画教材の視聴と合わせて、受講者のディスカッションを前提としていますので、ディスカッションの進行等、プログラムの効果を高めるために重要な役割を果たすファシリテーターが、研修の企画・実施にあたり理解しておく必要があることについても示しています。

本書は、3部から構成されています。次の第Ⅱ部では、研修の企画・実施者あるいはファシリテーターが踏まえておくべき男女共同参画の基本的知識について解説します。効果的な研修を実施するためには、研修実施者自身が、男女共同参画を推進するための研修を企画・実施することの意義・必要性を十分に理解しておくことが大切です。また、ディスカッションを進行するファシリテーターが、受講者の気づきや理解の度合い、ディスカッションの深まり等の状況を見極めて、的確な声かけをするためにも、自身が男女共同参画の現状・課題を理解しておく必要があります。

第Ⅱ部の流れは、まとめ動画の内容に沿いながら、参考となる情報やURL等を加えています。研修のなかでまとめ動画を視聴した際に、地域の課題に応じて説明を加えたり、関連資料を配付したりする際に活用することもできます。

第Ⅲ部では、動画教材を活用して効果的に教員研修を企画・実施する方法を説明しています。教員研修のデザインやケース動画の構成等を示すとともに、研修の対象や課題に合わせて動画教材を組み合わせる研修の展開例や、研修におけるワークの進め方、ファシリテーターの役割も提示しています。また、教員研修プログラムを行動変容に向けてのプロセスとして捉え、今後の取組の参考例を挙げています。